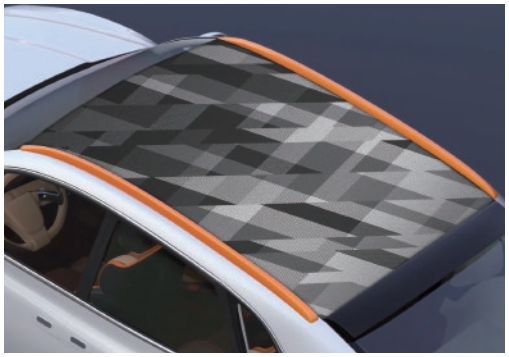
DNP Report
株主通信

（証券コード：7912）

Vol.121



INDEX

■ TOP MESSAGE　株主の皆様へ

■ ［特集］「未来のあたりまえをつくる。」
～モビリティ・産業用高機能材関連～

■ Pickup News

■ 2025年3月期 第3四半期決算のご報告

DNP

TOP MESSAGE　株主の皆様へ

独自技術をはじめとする強みの掛け合わせで「より良い未来」を自らつくり出していきます。

代表取締役社長　北島 義斉（よしなり）

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

DNPグループは、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」という企業理念に基づき、持続可能なより良い社会とより心豊かな暮らしの実現に努め、自らが主体となって「より良い未来」をつくり出す事業を展開しています。

私たちは、『安全・安心かつ健康に心豊かに暮らせる社会』『快適にコミュニケーションができる社会』『人が互いに尊重し合う社会』『経済成長と地球環境が両立する社会』という「4つの社会」を「より良い未来」としてめざしています。そして、何をどの優先順位で行うか、どのような価値を生み出していくのかを具体化して効果を高めていくため、「マテリアリティ（重要課題）」を特定しています（図参照）。このマテリアリティに基づき、DNP独自の「P&I（印刷と情報）」の強みを掛け合わせ、社外のパートナーとの連携を深めて、新しい価値の創出を加速させていきます。

中長期を見据えたこうした取り組みの中で、現在は2023-2025年度の「中期経営計画」の2年目の活動を推進しています。この第3四半期（2024年4-12月）は三つの事業部門（セグメント）で、注力事業領域を中心に次のような進捗がありました。

スマートコミュニケーション部門

基盤事業の「イメージングコミュニケーション関連」は、写真プリント用部材が欧米・アジア市場で好調に推移したほか、バーコード等の印字に使う溶融型熱転写記録材が主に東南アジア市場で堅調に推移しました。また、国内の証明写真サービスや撮影サービスの増加も寄与しました。

なお、出版印刷事業については、意思決定の迅速化と部門間連携の強化を図り、市場環境の変化に適応するため、2025年4月に製造・販売一体の体制へと再編する予定です。

ライフ&ヘルスケア部門

成長牽引事業の「モビリティ・産業用高機能材関連」は、リチウムイオン電池用バッテリーパウチが、スマートフォンやタブレット端末などの新機種向け需要でIT機器向けが伸長しました。太陽電池関連は、世界的な需要の高まりによって、封止材を中心に好調に推移しました。自動車用の加飾フィルムは、内装用が好調に推移したほか、塗装工程の短縮と環境負荷の低減を実現しながらデザイン性にも優れた外装用の販売に注力しました。

この事業については、4-5ページの特集で紹介していますのでご覧ください。

エレクトロニクス部門

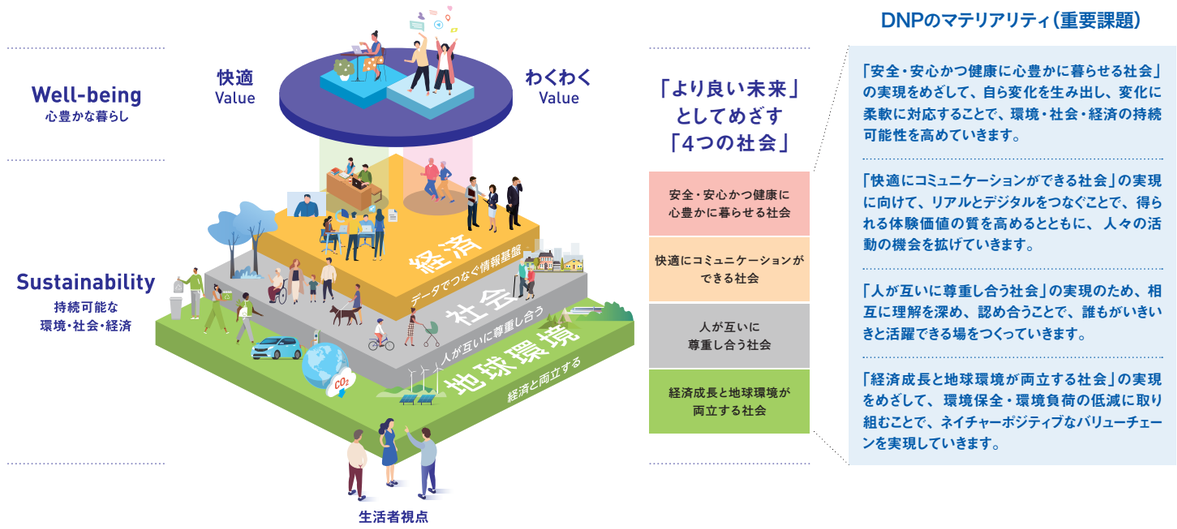
成長牽引事業の「デジタルインターフェース関連」は、光学フィルムが液晶テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大等により堅調に推移しました。同じ成長牽引事業の「半導体関連」も、市場の回復によって半導体製造用フォトマスクの出荷量が堅調に推移しました。

こうした取り組みの結果、2025年3月期第3四半期の連結業績は、売上高が前年同期比1.7%増の1兆790億円、営業利益が20.5%増の626億円、経常利益が16.8%増の797億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却にともなう特別利益の計上もあり、17.8%増の1,160億円になりました。

私たちDNPは、これまでも絶え間なく挑戦を続け、2026年には創業150周年を迎えます。これからも私たち自身が「より良い未来」をつくり出していくため、「オールDNP」の総合力を発揮して、中期経営計画の目標達成に努めるとともに、持続的な事業価値・株主価値の創出に挑戦し続けていきます。

今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申しあげます。

DNPがめざす「より良い未来」



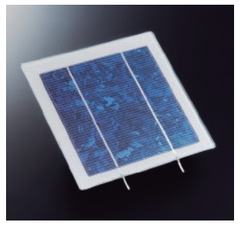
FOCUS DNP［特集］

「未来のあたりまえをつくる。」

～モビリティ・産業用高機能材関連～

［成長牽引事業］［ライフ&ヘルスケア部門］

リチウムイオン電池用
バッテリーパウチ



太陽電池関連

自動車用製品加飾フィルム等

DNPは、世界トップシェアのリチウムイオン電池用バッテリーパウチをはじめ、太陽電池用関連部材やモビリティ関連の多様な製品などを開発しています。DNP独自の技術を掛け合わせ、パートナーとの連携を深めて、“安全・安心・快適・環境”の本質的な価値を提供していきます。

リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

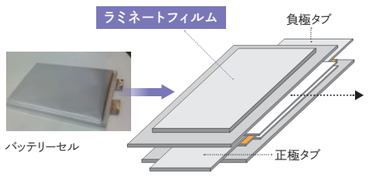
長年培った高い品質と顧客からの信頼を強みに「パウチの業界リーダー」を堅持・拡大

リチウムイオン電池用バッテリーパウチはリチウムイオン電池の外装材で、電池の中身を保護する役割があります。DNPは、高い絶縁性やシール性・気密性などの欠かせない機能を独自技術の掛け合わせによって実現しています。フィルムタイプのため、金属缶タイプと比べて軽く加工性に優れ、スマートフォンやタブレット端末等のIT用と電気自動車(EV)等の車載用で市場が拡大しています。DNPは需要の広がりを先取りして、国内外で本製品の生産能力を高めています。

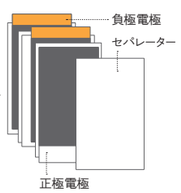
これからも、独自のコンバーティング(材料加工)技術や保有特許等の強みをさらに活かし、世界トップのシェアを維持・強化していきます。また、業界のデファクトスタンダード構築に努め、グローバル市場におけるプレゼンスを高めていきます。

製品イメージと製品展開

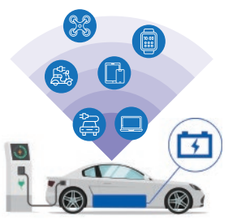
ラミネートセル構造



積層型電極



リチウムイオン電池を安全・安心に包むバッテリーパウチの需要は、IT用途や車載用途に加え、蓄電池などの多様な用途で拡大しています。



DNPの強みを活かして本製品に必要な機能を実現

- ○ 電解液を漏らさないための「高いシール性・気密性」
- ○ 外からの水分の混入を防ぐ「高い水蒸気バリア性」
- ○ 電池容量を増やすための「高い成形性」
- ○ 高電圧・大型電池に対応するための「高い絶縁性」
- ○ 過酷な環境でも稼働を安定させるための「耐熱・高温下での安定性」

×

競争力をさらに高めるDNPの強み

- ○ 世界標準確立へのアプローチ
- ○ 大型電池用でも安定した品質の実績
- ○ 自動車産業向け品質マネジメントシステム「IATF16949」の認証を取得

成長戦略

生産技術
独自の開発プロセスと社内での開発・製造によってノウハウの流出を防止

製品開発
自社での材料設計と材料メーカーとの提携の深化によって技術を高度化

競合対応
500件以上の特許を活かし、他社の参入の抑制と自社の強みの最大化を推進

顧客対応
世界各地での適地生産に取り組みながら、生産能力の増強を推進

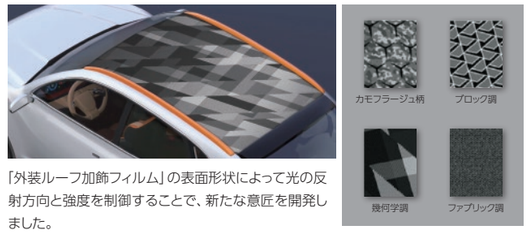
モビリティ関連　自動車の塗装をフィルム化で意匠性向上と塗装工程削減を実現

モビリティ用内外装加飾フィルム

DNPは、長年培った独自の印刷技術を駆使して、デザイン性と機能性を兼ね備えた自動車の内・外装材を開発・提供し、車内環境の快適性や美観の向上、CO_2排出量の削減などに貢献しています。

一例として、車体を2トーンカラーにする際、塗装ではなくルーフ(屋根)にフィルムを貼って色を表現する場合もあります。自動車製造時のCO_2排出量の約25%を占めるのが塗装工程です。多様な色・柄があるDNPの「外装ルーフ加飾フィルム」の導入によって、2トーンの一般的な塗装と比べ、大幅な作業負荷低減と、それにともなうCO_2やVOC(揮発性有機化合物)、汚泥・排水等の排出量削減が可能になります。生産性向上、環境負荷低減、意匠性向上などの価値を提供する塗装代替用の製品として期待されています。

DNPの内装加飾フィルムは幅広い工法に対応。
部品ごとに最適な工法を選び、意匠を合わせることが可能です。

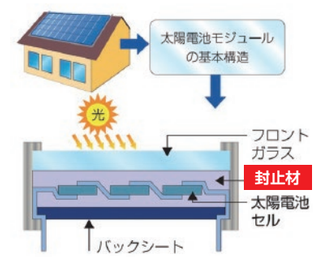


「外装ルーフ加飾フィルム」の表面形状によって光の反射方向と強度を制御することで、新たな意匠を開発しました。

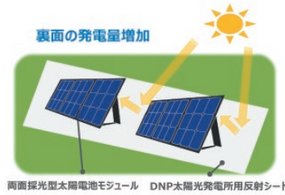
太陽電池関連　再生可能エネルギーの普及・発展に貢献

太陽電池用封止材・DNP太陽光発電所用反射シート

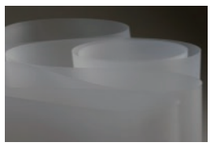
「脱炭素社会」の実現に取り組むDNPは、各国・地域で加速している太陽光発電を支える関連部材を提供しています。泉崎工場(福島県)では「太陽電池用封止材」※1の生産能力を2023年比2倍に増強して2025年内に稼働させます。また、「DNP太陽光発電所用反射シート」※2等の周辺部材の開発も進め、太陽電池関連部材事業の全体で、2027年度に年間200億円の売上をめざします。



※1　太陽電池用封止材:太陽電池内部の電極やセルを保護し、湿気・塵埃(じんあい)・酸素・紫外線等による損傷を防ぐシート。
※2　DNP太陽光発電所用反射シート:両面採光型の太陽電池を設置する地面に敷くことで、電池の裏面に入射する光量を増やし、発電量の増加につなげる部材です。



地面に設置したシートのイメージ



太陽電池用封止材(シート)

企業広告シリーズ「DNPの一面!」

2025年3月1日開始

新CM「高機能マテリアル」篇の放送を開始

DNPは、社員一人ひとりがつくり出す価値の「一面」を紹介する広告シリーズを展開中。DNPならではの強みと社外のパートナーの強みを掛け合わせて価値を生み出し、それを「未来のあたりまえ」にしていく志を持って取り組む社員に焦点を当てています。今回、バッテリーパウチと防錆(ぼうせい)性フィルムを中心とした「高機能マテリアル」篇を制作し、テレビCMや交通広告、Webメディア等で発信しています。

◎「DNPの一面!」についてはこちら
URL https://www.dnp.co.jp/brand/

◎CM「高機能マテリアル」篇
URL https://www.youtube.com/c/DNPOfficial

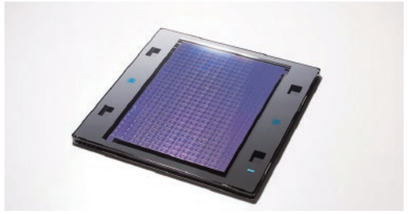
Pickup News

2024年12月12日発表

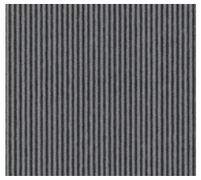
EUVリソグラフィ向けフォトマスク上に、2ナノメートル(nm)世代以降の微細パターンを解像!

最先端のロジック半導体では近年、EUV(Extreme Ultra-Violet:極端紫外線)光源を用いるEUVリソグラフィによる量産が加速。メモリ半導体でもその採用が拡大するなど、最先端半導体の供給にEUVリソグラフィが欠かせないものになっています。こうした需要拡大に対してDNPは今回、2nm(10億分の1メートル)世代以降のロジック半導体向けEUVリソグラフィ用フォトマスクに必要な微細パターンの解像に成功しました。従来の3nm世代に比べて20%以上微細化した複雑な曲線パターンの形成を可能に。また、高開口数(High-Numerical Aperture:高NA※)対応フォトマスクの基礎評価を完了し、評価用サンプルの提供を開始しました。DNPは2027年度の量産供給開始をめざし、さらなる技術開発を推進します。

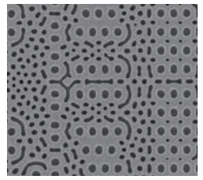
※Numerical Aperture(NA):光学系の明るさや解像力を表す数値。
高NAは、EUV露光装置のレンズ開口数を従来の0.33から0.55に拡大したもの。



2ナノメートル世代以降のEUVリソグラフィ向けフォトマスク



同フォトマスク上の線幅17nmのLine & Spaceパターン画像

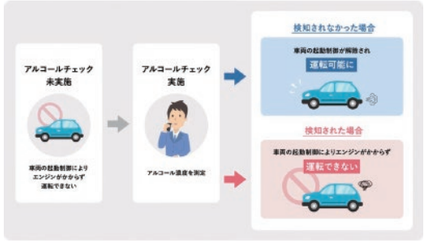


同フォトマスク上の微細曲線パターン画像

2025年1月20日サービス開始

DNP、GMS、東海理化の3社が協業 社用車向けアルコール・インターロック機能の提供を開始

DNPは、Global Mobility Service(株)(GMS)、(株)東海理化と協業し、飲酒運転防止を目的とした社用車向け「アルコール・インターロック機能」の提供を開始しました。これは、運転者の呼気からアルコールを検知した場合に車両の起動を遠隔で制御する機能で、社用車に搭載することで業務中の飲酒運転を防止します。今回、アルコールチェック機能を搭載した社用車管理システムを提供する東海理化、モビリティの遠隔起動制御技術を持つGMS、両社と協業関係にあるDNPがそれぞれの強みを掛け合わせて、「飲んだらエンジンがかからない仕組み」を実現しました。



アルコール・インターロック機能のイメージ

2025年2月7日発表

CDPの最高評価「Aリスト」に2つの分野で認定

DNPは、企業等の環境関連の戦略や取り組みなどを評価・認定する国際的な非営利団体CDPから、2つの分野で最高評価の「Aリスト」に認定されました。

CDPを通じた情報開示を支持する金融機関の数は700以上で、その運用資産総額は世界の金融資産の4分の1を占めています。「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」の3分野で企業を評価しており、DNPは「気候変動」分野で3年連続、「水セキュリティ」分野で初めてAリスト認定を獲得しました。

2024年12月24日発表

世界的な社会的責任投資インデックス「DJSI World」2024構成銘柄に選定

DNPは、世界的に権威のある社会的責任投資(SRI:Socially Responsible Investment)の指標である「Dow Jones Sustainability Indices」(DJSI)のWorld Indexの2024年構成銘柄に選定されました。2024年は、62産業の中から321社(うち日本企業37社)がWorld Indexに選定されています。

DNPは今回、長年にわたる環境への取り組みから、「気候変動戦略」「エネルギー」「廃棄物と汚染物質」「水」「環境方針」などの項目で高い評価を得ました。また、「労働安全衛生」「企業倫理」「サプライチェーンマネジメント」「人的資本管理」など、社会やガバナンスの視点も含めた広い分野で高く評価されました。

2025年3月期第3四半期決算のご報告 (2024年4月1日～2024年12月31日)

連結業績の概況 (単位:億円)

科　目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	10,790	10,612
営業利益	626	520
経常利益	797	682
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,160	985

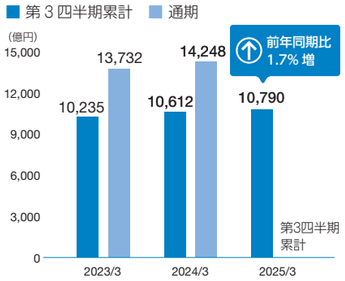
連結業績の予想 (単位:億円)

科　目	2025年3月期通期(対前期増減率)
売上高	14,550 (+2.1%)
営業利益	880 (+16.6%)
経常利益	1,100 (+11.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,060 (△4.4%)

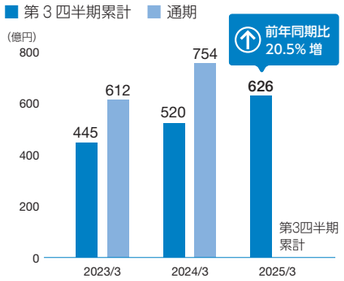
1株当たり当期純利益228円06銭※

※2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割した影響を考慮しています。

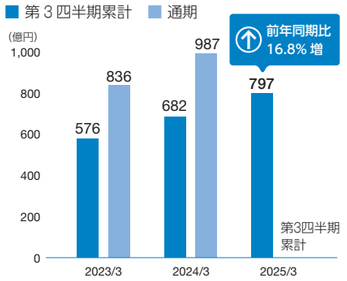
連結売上高



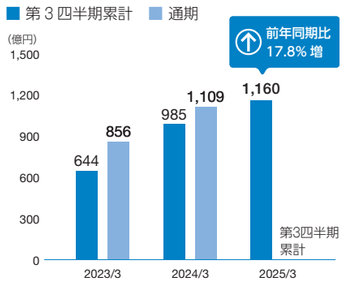
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科　目	当第3四半期連結会計期間末	前連結会計年度末
資産の部	19,788	19,556
流動資産	8,068	7,993
固定資産	11,720	11,563
負債の部	7,008	7,189
流動負債	3,957	4,089
固定負債	3,051	3,100
純資産の部	12,780	12,366

スマートコミュニケーション部門

写真プリント用 昇華型熱転写記録材

売上高 **5,223億円**　前年同期比 **1.8%減**
営業利益 **204億円**　前年同期比 **28.2%増**

写真のプリント用部材が好調に推移しICカードが増加したものの、BPOの大型案件が減少しました。紙媒体等の減収影響を受けたものの、為替のプラス効果、事業構造改革により、減収・増益となりました。

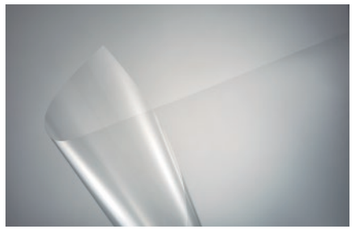
ライフ&ヘルスケア部門

リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

売上高 **3,746億円**　前年同期比 **5.1%増**
営業利益 **167億円**　前年同期比 **58.5%増**

IT向けのリチウムイオン電池用バッテリーパウチや太陽電池用部材、自動車用部材などが増加しました。原材料費等の上昇ペースが落ち着き、価格転嫁や包装関連の売上増加により、増収・増益となりました。

エレクトロニクス部門



ディスプレイ用光学フィルム

売上高 **1,834億円**　前年同期比 **5.2%増**
営業利益 **426億円**　前年同期比 **0.7%増**

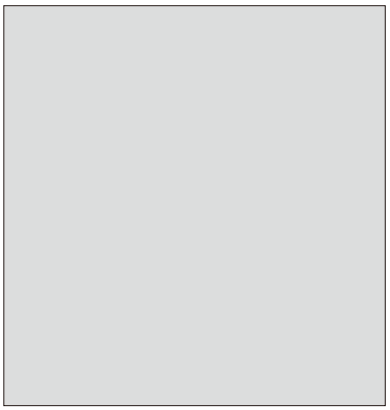
デジタルインターフェース関連は、有機ELディスプレイ製造用メタルマスクが減少したものの、光学フィルムが堅調に推移しました。半導体関連は、市場の回復により売上が増加し、増収・増益となりました。

DNPのWebサイトのご案内

最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。

トップページ

IR情報トップページ



CM連動ページ

●DNPのWebサイトURL

- トップページ
  https://www.dnp.co.jp/
- IR情報はこちら
  https://www.dnp.co.jp/ir/
- 株主通信「DNP Report」はこちら
  https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/
- CMと連動したWebページはこちら
  https://www.dnp.co.jp/brand/

会社情報

商号	大日本印刷株式会社(Dai Nippon Printing Co., Ltd.)	設立年月日	1894年(明治27年) 1月19日
本社所在地	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	資本金	1,144億6,476万円
Webサイト	https://www.dnp.co.jp/	発行済株式総数	277,240,346株(自己株式 47,079,624株を含む)
創業	1876年(明治 9年) 10月9日	株主数	26,796名(2024年9月30日現在)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日　その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日　　中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号　みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のWebサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1.住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

● 証券会社等に口座をお持ちの株主様
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店

● 証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)
(お問い合わせ先)　みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
(お手続き窓口)　みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申しあげます。

2.未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

(お支払窓口)　みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行　本店および全国各支店

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

※当社は、2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社　IR・広報本部 IR室

〒162-8001　東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号　TEL：03-3266-2111(大代表)

2025.3

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。